

ブロック名	開催日	対象地区	上段:会場参加数 下段:(オンライン申込数)	意見	検討の方向性
深志南ブロック	1月21日(金)	庄内、鎌田 松南、田川	27名 (3名)	<ul style="list-style-type: none"> ・並柳線とTS南コースの統合案については、良い案だと思う。町会に持ち帰り説明する。 ・マイカー通勤者を路線バスでの通勤に切り替えられれば、渋滞解消にも繋がる。自家用車の乗入れ禁止区域の設定やマイカー通勤の禁止などが必要ではないか。路線バスが無くなったため、マイカー通勤が増えた事例もある。 ・南松、平田、村井の新規路線について、南松～平田の路線を線路の東側も通ってほしい。(後日来庁し意見) 	<ul style="list-style-type: none"> ・並柳線とTS南コースについては、統合案を基本的に沿線の町会と調整を進める。 ・マイカーによる通勤から公共交通による通勤に切り替えられる施策、路線設計等、企業及び庁内関係部署と連携しながら、検討を進める。 ・南松～平田間の東側ルートについては、寿台線を考慮しつつ、住民の移動ニーズに沿った路線設計を進める。
深志中ブロック	1月24日(月)	第一、第二、第三 東部、中央	15名 (1名)	<ul style="list-style-type: none"> ・街中ということで、バスに対しあまり興味が無い住民が多いが、通学や高齢者の通院への対応もお願いしたい。 ・第三地区はバスを利用する住民は少ないが、自転車の運転マナーが非常に悪い。自転車のマナー向上の啓蒙運動を進めてほしい。 ・路線名が分かりづらく、どこに行くのかが分からない。 ・一部の路線については、駅前ロータリーで乗車ができ利便が良いが、バスターミナルと離れているのは不便。いろんな人が利用しやすいようにお願いしたい。 ・TS西コースを利用するが、一方通行のため帰りが遠回りして利便性が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線再編と併せて運行便数及びダイヤについても、移動ニーズに合わせて効率的な設計を進める。 ・自転車の運転マナーについては、庁内関係部署及び学校とも連携し、マナー向上のための施策を進める。 ・公設民営化事業の中で、乗り場案内をはじめ、行先表示等、来街者にも理解しやすい表示を検討したい。 ・路線バス乗り場については、駅前ロータリーの再開発の検討の中で、関係者との協議を進める。 ・TS西コースについては、西部コミバスA線との統合再編を検討する中で、循環便から往復便にすることで、往復路の利便性の向上を図る。
南部ブロック	1月25日(火)	芳川、寿、松原 寿台、中山、内田	27名 (3名)	<ul style="list-style-type: none"> ・下瀬黒の上まで並柳団地線の延伸を要望する。(午前、午後1便づつ) ・並柳から中山に抜ける路線ができるとありがたい。 ・寿小池4つ角から南が空白になっている。(路線も商店等もない)路線バスの検討をお願いしたい。 ・住民全員が松本駅を目指したい訳ではない。高校生の通学対応であれば、あかたの森を経由する路線など目的に応じた路線が必要だと思う。 ・竹刈バス停は路肩が狭く、バス待ちが怖い。バス待ち環境とバス停への駐輪場の整備を要望する。 ・バスロケをアプリ上ではなく、Web上で見れるようになると良い。 ・キャッシュレス化を要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・並柳団地線とTS南コースの統合再編を検討する中で、定時定路線の延伸がデマンド交通か地域のニーズを捉え各地区と一緒に検討を進める。 ・寿地区をはじめ、それぞれの地区内移動を検討する中で、地区の実情に応じた形態の移動手段を地区と一緒に検討を進める。 ・交通ネットワーク全体を検討していく中で、効率的な再編に考慮しつつ、可能な範囲で目的地を経由する路線再編を進める。 ・バス待ち環境については、必要な箇所から順次整備を進める。 ・バスロケは、現在もWeb上で確認できるが、より使いやすい環境の検討を進める。 ・キャッシュレス化については、公設民営化と合わせて検討を進めている状況。
西部ブロック	1月26日(水)	安曇、奈川 梓川、波田	23名 (9名)	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇地区では観光路線はあるものの住民としては不便点がある。通勤通学時間帯のバスがないため、住民が新島々駅まで高校生を送迎している状況。ボランティアへの支援についても検討をお願いしたい。 ・波田地区では住民アンケートを実施し、循環バスの継続希望の意見があり、デマンド交通についても要望する意見があった。また、路線が少ないとの意見もあった。 ・梓川地区では、全世帯にアンケートを実施し、集計内容について梓川地区における公共交通についての提言書を作成したのでお渡しする。コミバスC線については、存続を希望する。また、新村駅を起点としているものを梓橋駅を起点としていただきたい。合わせて、梓川に掛かる橋の渋滞解消対策を進めていただきたい。 ・梓川地区においてdoor-to-doorの要望が多い状況であり、自家用有償について地区として考えていきたい。公共交通課と連携して検討を進めたい。 ・公設民営化になっても、単に赤字だからと言って廃線となつては、免許証をもっていない者にとっては困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の移動手段の確保については、自家用有償運送も含め、地域と一緒に検討をしていきたい。 ・波田地区での循環バスのアンケート結果も参考に、地域の実情にあった運行形態を地域と一緒に検討を進める。 ・提言書の内容については、今後の具体的に検討していくうえで材料として活用させていただきます。 ・梓川地区で考えている自家用有償については、公共交通課としても庁内関係部署と連携を図り、また地域とも一緒に取り組んでいく。 ・行政がバス路線の維持に大きく関わっていくという公設民営化の取組みは全国的にも珍しく、単に赤字ということで廃線とはしない。しかしながら、需要は年々変化するものであり、必要なところに必要な路線を通すよう、毎年見直しは行っていく。
東山部ブロック	1月30日(日)	岡田、入山辺、里 山辺、本郷、四賀	16名 (6名)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田線が短縮した結果、ほしみ線ができた。岡田線をほしみ線まで延伸してもらえれば利便性は上がると思う。 ・ほしみ線について中浅間からは乗車できないのが問題と考える。また回数券の購入場所も限定的で本郷地区に住んでいても利用できないところが不便である。 ・デマンド交通をもっと進めた方が良いと思う。 ・1日あたり、1便あたりは全体平均になってしまうので、時間帯別、曜日別等の集計分析をしたうえで、効率を考えた方が良いと思う。 ・松本駅から放射線状に路線が伸びている状況で横に繋がる路線がない。曜日で変更する等、利用者が増えるような細かい再編が必要だと思う。 ・バス停まで行く手段がなければ結果的にバスを利用できないためラストワンマイルの部分を一緒に考えてほしい。路線再編とラストワンマイルはセットで考えなければいけない。 ・市全域のラストワンマイルを公共交通課だけで検討していくのは無理だと思う。地域づくりセンターと一緒に考えていく必要があると思う。 ・入山辺線については、デマンド交通の導入についても検討してほしい。また、スクールバスと統合を検討するのであれば、子供の安全面を確保できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通勤・通学時には岡田線を延伸し、通院・買物については、地域内移動として地域バスを充実させる等、利便性の向上を考えながら検討を進める。 ・乗降制限は公設民営に移行することで解消する見込み。回数券等の購入場所は、課題解消に向け検討を進める。 ・デマンド交通については、地域の実情を捉えながら、それぞれの地域にマッチする形態を地域と一緒に検討を進める。 ・効率的な路線再編を進めるうえで、便別、バス停別等の乗降データ等、必要な情報の収集に努め、データに基づく検討を進める。 ・利用者増の施策として、Google検索で路線情報が取得できれば生活路線を観光路線としても活用でき、住民以外の利用増に繋がると考える。キャッシュレス化についても、公設民営化と合わせての導入に向け検討を進めている。 ・ラストワンマイルについては、あらゆる形態の自家用有償運送を含めて、地域の特性に合ったものを、それぞれの地域と一緒に検討をしていきたい。 ・それぞれの地域内の移動については、地域づくりセンターも含めて地域と一緒に検討を進める。 ・入山辺線のデマンド交通導入については、地元協議会と一緒に検討を進める。スクールバスとの統合は、生徒の安全を第一優先とし、関係部署と連携しながら可能性を模索していく。
河西部ブロック	2月10日(木)	島内、島立 新村、和田 笹賀、神林 今井	25名 (18名)	<ul style="list-style-type: none"> ・西部コミバスA線について、小宮団地からの沿線には商業施設等がなく、松本駅への接続しか目的がない。また、もっと住宅地を通ってほしい。 ・再編案はある程度の採算性を見越したものなのか。 ・新村地区ではプチ送迎ボランティアを実施しているが、利用者は増えても運転手が増えない。その解決策として経費の補助等で支援をお願いしたい。 ・多額の予算が投入されており、通学には相応の対応をしなければいけない。交通弱者にどうやって対応していくか。デマンド交通で対応できるようにしてほしい。Door-to-doorまでは望まないが、その近くまで来てほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、要望として再編の参考とする。 ・現在の予算額から大きく外れることがないよう設計している。 ・どのようにタクシー業界等の協力を得られるか知恵を出していきたい。 ・バス停まで行けない方をデマンド交通等どうやって移動を確保できるか検討を進めている。朝夕は定時定路線で通勤・通学の移動を確保し、日中はデマンド交通に切り替える等を考えていきたい。
小計		6回	133名 (40名)		
合計		6回	173名		